

クリス・ストロール先生の 英語上達へのアドバイス

[その2] Never Give Up!

前回に引き続き、英語コミュニケーション講座の講師クリス・ストロール先生から、英語をうまく話すためのコツを伺いました。(広報部K)

【質問1】 英会話学校に通わず、英語を上達させる方法はありますか？

【回答1】 例えば、自分の好きな映画を毎日見る、音楽を聴くなど、英語をよく聴くこと。そして聴いた音を真似て発音するということはとても上達に役立ちます。

英語を聞き取るには時間がかかります。繰り返し発声練習をすることが大切です。また、正しい発音をするには練習が必要です。Never Give Up!の気持ち、繰り返しの練習の積み重ね、努力が重要です。

また、基本的には“英語圏の人とのコミュニケーションをとる”ということが重要になってきます。例えば、日本語に「少し考えさせてください」という言葉がありますが、英語にはそのような表現はありません。

英語圏の人とのコミュニケーションではYES、NOをはっきりすること、自分の考えや主張を明確にして、言葉にすることが大切です。

【質問2】 英語をうまく聞き取るためのコツや正しく発音するコツはありますか？

【回答2】 会話をしているときに必要なことは、人の話しを注意深く聞くことだと思います。

英語は日本語より母音が多いので、会話の中で聞き取りにくい were/where、you/your や he/she は、短いけれど重要な単語であり、発音するのが難しい時があります。質問の最初に付く “what”・“where”・“who” と “do”・“does”・“did” を聞き逃すことが多く、正しく答えられない場合があります。ですので、相手が話し始める時点から注意深く聞くことが大事です。

英語の発音をしにくくするのは、英語に多くある母音です。日本語を話す時とは異なる口の動き方をしなければならぬため、発音をマスターするには相当な努力が必要です。

英語を正しく発音するには、同じフレーズを何度か繰り返すこと、カラオケで英語の歌を歌うことなどもとても上達に役立ちますよ！

クリス・ストロール

We asked Mr. Chris Strahl who teaches “English Communication Class” on how to improve English speaking skill.

【Question1】 How can we improve English skills without going to English language school?

【Answer1】 For example, listening to English everyday by watching your favorite movies or listening to music and then repeating some phrases a few times is helpful. It takes time to follow a foreign language and you need to make an effort to pronounce properly. Never giving up and action is important, but the basis is communication with people from English-speaking countries. There is a phrase, “Sukoshi kangae sasete kudasai” in Japanese. There is no applicable term in English. It also important to give clear-cut yes or no answers as well to articulate your opinions and arguments when communicating with English-speaking people.

【Question2】 What are important things when you listen to English speakers? Are there any tips to pronounce words correctly?

【Answer2】 When you listen to anybody speaking, I think you need to listen very carefully. Japanese people learning English have to listen especially carefully since there are many more vowel sounds in English than in Japanese. Short but important words like, were/where, you/your or he/she are hard to catch in conversation and hard to pronounce sometimes. Sometimes people miss the “what”, “where”, “who” or “do”, “does”, “did” at the beginning of a question and can't answer properly. So it's important to really listen carefully right from the time a person starts speaking.

The many extra vowel sounds in English makes the pronunciation tough too. Japanese have to move their mouths differently than when speaking Japanese so it takes a real effort to master English pronunciation.

It really helps to repeat the same phrase several times or even singing English songs at karaoke!

I hope this info is helpful!

Chris Strahl



クリス・ストロール先生

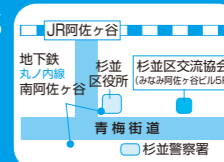
すぎなみ交流ニュース

第34号

2014年10月

Suginami Cultural Exchange News

수기나미 교류 소식
杉並的交流消息



会員になりませんか?
～詳細は裏表紙～



◆発行:杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org

<http://www.suginami-kouryu.org/>

○年4回発行○協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。R40 この印刷物は古紙配合率40%の再生紙を使用しています。

平成26年度

交流自治体中学生親善野球大会を開催します

平成23年度から台湾と杉並区、そして杉並区の交流自治体の中学生が野球を通じて交流してきた交流自治体中学生親善野球大会も今年度で4回目を迎えました。

今年度は10月に杉並区において開催します。杉並区、台湾台北市、福島県南相馬市、北海道名寄市、新たに静岡県賀茂郡南伊豆町が参加して、中学生たちが交流を深めます。

野球交流を通して、健全なスポーツ精神を培うとともに、異文化理解・国際理解を深める本事業へのご理解と、懸命に励む中学生たちへの温かいご声援をよろしくお祈りします。



試合日程 (予定)
参加 計7チーム(杉並2チーム、台湾2チーム、南相馬・名寄・南伊豆 各1チーム)

10月12日(日) 開会式(上井草運動場)8時30分
試合開始10時30分(富士見ヶ丘は11時30分)

	上井草スポーツセンター		(暫定)
	運動場1	運動場2	富士見ヶ丘運動場
第1試合	杉並E × 台湾長安	名寄 × 台湾大理	南伊豆 × 杉並W
第2試合	南相馬 × 台湾長安	杉並E × 台湾大理	名寄 × 杉並W
第3試合	南相馬 × 南伊豆		

10月13日(月・祝) 試合開始9時(佼成学園は8時30分)
開会式15時30分

	上井草スポーツセンター		佼成学園
	運動場1	運動場2	総合グラウンド
第1試合	南伊豆 × 台湾長安	杉並W × 台湾大理	杉並E × 南相馬
第2試合	南伊豆 × 名寄	南相馬 × 台湾大理	
第3試合	杉並W × 台湾長安	杉並E × 名寄	

※試合日時、組み合わせ等は、変更になる可能性があります。



主催:交流自治体中学生親善野球大会実行委員会
共催:杉並区、杉並区教育委員会
協力:台北駐日経済文化代表処、東京商工会議所杉並支部

Event Information from SACE 交流イベント情報

●名寄市の秋の観光物産展
◇日 時: 10月24日(金) 11:00～19:00
10月25日(土) 10:00～16:00
◇場 所: 区役所青梅街道側入口前

●小千谷フェア
新潟県小千谷市の新鮮野菜や魚沼産コシヒカリなどの販売
◇日 時: 10月11日(土)・12月21日(日)
11:00～13:30
◇場 所: 小千谷学生寮駐車場(井草4-16-23)

●すぎなみフェスタ2014・交流自治体合同物産展
◇日 時: 11月8日(土) 10:00～15:30
11月9日(日) 10:00～15:00
◇場 所: 桃井原っぱ公園(桃井3-8-1)

●小千谷ふるさと市場
新潟県小千谷市の特産品販売
◇日 時: 12月18日(木) 10:00～14:00
◇場 所: 区役所中杉通り側入口前

問合せ: 区役所文化・交流課交流推進担当
Tel: 03-3312-2111 (代表)
いずれも雨天実施。売り切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。



交流協会の会員になりませんか? 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

●年度会費
・個人会員 1,000円/年(9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
・法人会員 20,000円/年
●会員期間
入会の月から3月31日まで(当年度末)

●会員特典
① イベントの情報や交流に関する情報紙 [交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など] をお届けします。
② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
③ イベント参加費に会員割引があります。

●申込方法
入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

すぎなみフェスタ2014



人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に
11月8・9日 土・日
杉並区交流協会は“世界の屋台料理”を出店!

すぎなみフェスタHP <http://www.sugi-chiiki.com/sugifes/>

【日時】11月8日(土) 10:00～15:30
11月9日(日) 10:00～15:00
【場所】メイン会場=桃井原っぱ公園(桃井3-8-1)
連携イベント会場=杉並会館(上荻3-29-5)
西荻地域区民センター・勤労福祉会館(桃井4-3-2)
【内容】キャラクターショー、団体発表、グルメコーナー、交流自治体物産展、ともがらぼろろ東北コーナーなど
【申込】当日、会場へお越しください。
【問合せ】すぎなみフェスタ実行委員会事務局(杉並区役所地域課地域活性化担当)
Tel: 03-3312-2111(代表)

杉並区交流協会の語学ボランティアのご紹介

杉並区交流協会では、国際交流の推進や、在住外国人の支援のために、登録いただいている語学ボランティアの方々にご協力いただいています。今回は、その語学ボランティアの活動内容をご紹介します。(広報部 Y)

▶ 語学ボランティア活動のようす

毎年恒例の「阿佐谷七夕まつり」の見物に、最近、外国人が目立って増えてきました。そこで今年は主催者の方から協会に案内通訳の依頼があり、初めてその対応にあたりました。

祭りは8月6日から10日までの5日間で、その間交代で阿佐ヶ谷駅頭に設置された「まつりのインフォメーションテント」で待機し、外国人対応の支援活動を行いました。8月9日(土)は、英語での活動中の小畑秀樹さんでした。語学に堪能であることや、以前、国連の活動に関与した経験などを活かしたいとボランティアの登録をしたそうです。もっとたくさんの活動機会があったらと意欲的な様子が印象的でした。



↑ 阿佐谷七夕まつり (2014年)

↓ 活動の様子



→案内通訳のボランティアで活躍して下さった小畑秀樹さん



▶ これまでの依頼内容

- ・区内の学校の国際理解教育の授業での講師
- ・来日したばかりの外国人児童・保護者の通訳
- ・区内施設の外国語表記の翻訳
- ・杉並アニメーションミュージアムでの案内通訳
- ・交流協会のイベントでの通訳など

▶ 語学ボランティア登録者内訳 (言語/人数)

英語/169 中国語/23 スペイン語/11 韓国語/8
タイ語/3 インドネシア語/3 ドイツ語/4 フランス語/3
イタリア語/1 トルコ語/1 ビルマ語/1 ベトナム語/1
ベンガル語/1 ロシア語/1 総数 230名 (2014年3月末日現在)

語学ボランティア登録は協会HP → <http://suginami-kouryu.org/> をアクセスし、「お問い合わせ」をクリックしてください。「申し込み記入ページ」がありますので、それにご記入の上、ご登録ください。

「通訳ボランティア・スキルアップ講座」開催

2012年の在留外国人登録制度の変更や観光客を含めた訪日外国人の増加、更には2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定などで、通訳の必要性・重要性が高まっています。そうした実情を背景に、交流協会の語学ボランティア(左記記事参照)に登録している方を主対象とした講座が、7月5日(土)、8月9日(土)の両日JR荻窪駅近くの「あんさんぶる荻窪」にて開催されました。20歳代から70歳以上の幅広い年代の参加者45名(今回参加した方の登録言語:英語・中国語・フランス語・スペイン語・タイ語)が熱心に講義を聴き、積極的に演習に取り組みました。

7月5日 講師 杉澤 経子氏
[東京外国語大学/多言語・多文化教育研究センター]



この日は主に通訳ボランティアとして必要とされる知識、心構えを学びました。講義はまず、「外国人とは」との定義から始めて、2012年に施行された住民基本台帳法で外国人にも住民票が交付されることになったことにより外国人住民の行政サービスへのアクセス機会が増加している実情などの説明がありました。

次いで、外国人相談などを通して得られる外国人住民を取り巻く司法・教育・行政・医療などに関するさまざまな問題を採り上げ、言語・文化の異なる人々が抱えるそれらの問題は、こころの問題に波及することもあるとの解説がありました。

後半は、外国人住民が抱える問題解決に向けての通訳ボランティアの活動実態や役割、特に講座参加者の多くがスキルアップを目指しているコミュニティ通訳(主に日常生活で外国人が抱える問題解決のために支援をする通訳)として必要とされる知識や役割などについて学びました。

8月9日 講師 内藤 稔氏
[東京外国語大学/多言語・多文化教育研究センター]



前回の講座で得られた知識を基に、翻訳と通訳の違い、逐次通訳と同時通訳の違いや通訳時のノートテイキングのポイントなどの説明がありましたが、多くの時間は参加者同士での実践を中心とした講座内容となり



ました。紙面の都合もあり細かい内容説明は省略しますが、具体的にはメモリー・エクササイズ演習(聞き取り単語などの記憶訓練)/リテンション演習(聞き取り短文の再生訓練)/リプロダクション演習(聞き取り文の重要要素の把握訓練)などを行い、最後には3名一組での相談通訳ロールプレイング演習が行われました。参加者の多くにとって馴染みのない演習であったので戸惑いもあったようですが、真剣に各課題に取り組んでいたのが印象的でありました。

参加者から回収したアンケートでは、内容が充実していて有意義な講座であったとの反応が大多数でありました。個別には「在留外国人の抱える問題の実情が理解できた」、「コミュニティ通訳に求められる能力レベルが把握できた」、「通訳には幅広い知識と専門性が求められることが分かった」、「演習の時間がもう少し欲しかった」、「(両日とも)講師の講義は周到に準備されていて分かりやすかった」などの回答がありました。

また、今後の講座希望について、語学研修を含めたこの種講座の継続開催の要望が多く寄せられたことも踏まえて、交流協会としてもこの分野での今後の活動方針を考えていきたいとのことです。(広報部 Ka)

外国人相談員のための勉強会開催

— 私たちが外国人生活者にできることは何か —

2014年 6月20日
於: 杉並区交流協会

杉並区交流協会では、毎月1回外国人サポートデスクの相談員のための全体会議や勉強会を実施しております。今回は、深田みり先生(立教女学院高等学校・留学生日本語講師)をお迎えし、外国人から相談を受ける時に必要な知識とスキルについて学びました。参加者は、外国人サポートデスクの相談員、杉並区交流協会と区役所の職員など14名でした。

はじめに深田先生から日本で学ぶ留学生の現状と日本語学校について説明を受けました。ベトナム、ネパール、ミャンマーからの留学生が増えているそうですが、これは杉並区の外国人登録者数の傾向とも一致します。今年1月から7月までに全体で307人増えましたが、ネパールとベトナムの

2カ国で233人、増加分の76%を占めています。

日本語学校で学ぶ学生は、大学受験に備える人、教養として学ぶ人、ビジネス日本語を学ぶ人など多様です。「生活のための日本語」を学びたいという国際結婚や仕事で来日した人、親に呼び寄せられた外国籍の子どもたちもいます。

後半は、外国人から相談を受けるときに役立つイラストの活用とやさしい日本語の使い方について学びました。イラストと聞くと難しそうですが、白紙に書いた4つの○に少し書き足すだけで「みかん」「柿」「リンゴ」「メロン」を描くことができます。所要時間は1分ほど。言葉に加えてこのように図を使うと、格段に理解しやすくなります。

「やさしい日本語」という言葉を聞いたことがありますか? 日本人には「粗大ごみは有料です」で伝わりますが、外国人にはどうでしょう。やさしい日本語では、「大きいゴミ、例えばテレビなどを捨てる時には、お金がいります」と言い換えます。コツは日本語のわからない人の気持ちになって想像力を働かせること。相手の気持ちを想像することは、日常のコミュニケーションにも必要なことだと気づかされた有益な研修会でした。(広報部 T)

